

陸前高田市まちづくり総合計画 体系図

資料 1

計画名	将来像	基本理念	基本目標	基本政策	主な基本事業	主な指標
陸前高田市まちづくり総合計画	夢と希望と愛に満ち 次世代につながる 共生と交流のまち 陸前高田	<p>1 創造的な復興と防災・減災による安全・安心なまちづくり</p> <p>2 ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり</p> <p>3 次世代につながる持続可能なまちづくり</p>	1 復興の確実な推進と誰もが安心して暮らすまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> ① 多重防災型の災害に強い安全なまちづくりを推進する ② 快適で魅力ある都市空間、都市機能を創出するまちづくりを推進する ③ 公共施設の再建や市民サービスの回復など、安定した市民の暮らしの復興を推進する ④ 産業基盤の早期復興と新規企業立地を推進する ⑤ 地球環境にやさしいエネルギーを活用したまちづくりを推進する ⑥ 地域の特性やコミュニティ活動を生かした協働によるまちづくりを推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・防潮堤等整備の促進 ・減災に寄与する道路整備 ・新市街地ゾーンの整備、交流ゾーンの形成 ・公共交通体系の復旧と再整備の促進 ・災害復興公営住宅等の整備促進 ・居場所づくり・健康づくりの推進 ・生活再建への支援 ・中小企業者等の再建・事業拡大支援 ・公共施設の太陽光発電施設の導入 ・地区コミュニティ別居住地域の再生 	
			2 快適に気持ちよく暮らすまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 1 生活道路・交通環境を整備する 2 水道水の安定供給と適切な下水処理を推進する 3 住環境整備を促進する 4 地域の伝統や文化を大切にする 5 生涯学習を推進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・市道の整備 ・新たな公共交通ネットワークの構築 ・安全・安心・安定した水道水の供給 ・一般住宅への支援 ・良好な景観形成の推進 ・自然・歴史・文化資源の保護と継承 ・歴史と風土に培われた文化財の保存と活用 ・学びの場となる施設の整備・充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・市道整備率 ・市内を運行する公共交通の利用者数 ・水道普及率 ・住まいるリフォーム支援事業助成件数 ・景観形成基準に適合している建築物等の割合 ・市民芸術祭参加者数 ・各種講座等参加者数 ・市民文化会館利用者数
			3 安全・安心で環境にやさしいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 6 防災意識を高め、防災・減災体制を整える 7 消防・救急体制の充実を図る 8 交通安全を推進する 9 防犯体制の強化と安心なまちづくりを推進する 10 自然環境の保全に努める 11 ごみの減量と資源の活用を図る 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域防災力の向上 ・防災教育の推進 ・消防団員の確保 ・交通安全意識の高揚 ・防犯活動の推進・体制強化 ・消費者保護と情報提供の充実 ・自然環境の保全 ・ごみ減量の推進 ・新エネルギーの利用促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災組織率 ・消防団員数 ・救急講習受講者数 ・交通事故発生件数 ・刑法犯発生件数 ・川・海の水質基準 ・環境教育・出前講座の開催回数 ・市民1人1日当たりのごみ排出量 ・新エネルギー利用促進助成件数
			4 子どもたちを健やかに育むまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 12 安心して子どもを産み育てられる環境を整える 13 一人ひとりを大切にした学校教育を推進する 14 知・徳・体を真に備えたたくましい人づくりを推進する 15 家庭や地域の教育力を高める 16 安全・安心な学校教育環境を整える 	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て環境の積極的支援 ・保育サービスの充実 ・長期にわたる児童生徒の心のケアの実施 ・確かな学力を育む教育の推進 ・豊かな心を育む教育の推進 ・たくましい子どもを育てる家庭教育の支援 ・地域全体で子どもを育てる環境づくり ・小中学校の安全と教育環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・出生数 ・児童公園等の整備 ・いじめ解消率 ・学習定着度状況調査における「授業の内容がわかる」と答えた児童生徒の割合 ・学校支援ボランティアの登録者数 ・たかた子どもキャンパスの参加者数 ・通学路安全点検危険箇所改善率
			5 ともに支え、健康に暮らすまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 17 共生のまちづくりを推進する 18 市民の健康づくりを推進する 19 安心できる医療・介護・福祉体制を整える 	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインの推進 ・高齢者の生活支援の推進 ・疾病の重症化予防 ・市民のスポーツの機会の創出 ・地域医療の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ・就労困難者就労者数 ・介護予防教室の参加者数 ・スポーツ教室等参加者数 ・気仙地区の医師数(10万人当たり) ・未来かなえネット登録者数
			6 市民と築く交流と連携の住みよいまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 20 仕事と生活の調和を図り、男女共同参画を推進する 21 協働によるまちづくりを推進する 22 住民活動を支援する 23 地域間の交流を促進する 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と生活の調和(ワークライフ・バランス)の推進 ・まちづくり団体(NPO等)による地域活動の支援 ・住民による地域活動の推進 ・新たなコミュニティ推進体制の構築 ・友好都市との交流や都市間交流の促進 ・交流人口の拡大、移住・定住の促進 	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事と家庭の両立支援行動計画策定登録数 ・まちづくり団体活動補助金による支援件数 ・コミュニティ活動推進補助金を利用した事業数 ・自治会館等の整備支援件数 ・友好都市等交流事業開催数 ・U・Iターン者数
			7 活気に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 24 農業の振興を図る 25 林業の振興を図る 26 水産業の振興を図る 27 商工業の振興を図る 28 地産地消とブランド化を推進する 29 地域資源を活かした観光振興を推進する 30 魅力ある雇用の創出と起業しやすい環境を整える 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地の利用集積 ・農業基盤整備の促進 ・自伐型林業の推進 ・再造林の促進 ・新規漁業就業者の確保定着と育成 ・商店街の活性化支援 ・地域の特性を活かしたブランド化推進 ・安心・安全な地元産食材の提供 ・観光施設等の整備 ・観光情報の発信 ・魅力ある雇用の創出 ・起業しやすい環境づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規就農者数 ・自伐型林業により整備した森林面積 ・再造林率 ・新規漁業就業者数 ・インカゲ貝の水揚量 ・商工会会員数 ・かさ上げ部の土地活用予定の割合 ・たかたのゆめの栽培面積 ・宿泊者数 ・観光入込客数 ・新規雇用者数 ・市内における起業者の創出件数
			8 市民にわかりやすく健全な行政運営	<ul style="list-style-type: none"> 31 健全な財政運営を推進する 32 広聴広報活動の充実を図る 33 利便性の高い行政サービスを提供する 	<ul style="list-style-type: none"> ・中長期的な財政見通しに基づく財政運営 ・わかりやすい市政情報の提供 ・広聴活動の充実 ・持続可能な行政運営のための仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・実質公債費比率 ・市公式ホームページの閲覧者数 ・市政懇談会への参加者数 ・公共無線LAN整備箇所数

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況

基本理念	基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値					進捗評価	2019年度取組実績	2020年度取組状況	担当課		
			指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022					2023	
基本理念1 創造的な復興 (より良い復興) と防災・減災に よる安全・安心 なまちづくり	1 復興の確実な 推進と誰もが安 心して暮らすま ちづくり	① 多重防災型の災害に強い安 全なまちづくりを推進する															
		② 快適で魅力ある都市空間、都 市機能を創出するまちづくり を推進する															
		③ 公共施設の再建や市民サービ スの回復など、安定した市民の 暮らしの復興を推進する															
		④ 産業基盤の早期復興と新規 企業立地を推進する															
		⑤ 地球環境にやさしいエネル ギーを活用したまちづくりを推 進する															
		⑥ 地域の特性やコミュニティ活 動を生かした協働によるまち づくりを推進する															

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況

基本理念	基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値					進捗評価	2019年度取組実績	2020年度取組状況	担当課		
			指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022					2023	
基本理念1 創造的な復興 (より良い復興) と防災・減災に よる安全・安心 なまちづくり	2 快適に気持ちよ く暮らすまちづく り	1 生活道路・交通環境を整備す る	生活道路・交通環境に満足して いる人の割合	33.3	40.0	%	37.6									政策推進室	
			市道改良率	47.0	53.5	%	48.0	49.3						A:順調に推移	21件の改良工事を実施済み。	7月末現在で21件の改良工事を発注した。	建設課
			橋梁長寿命化修繕計画に基づ く橋梁の修繕数(累計)	5	31	橋	7	14						A:順調に推移	7橋を補修済み。	7月末現在で4橋の補修工事を発注した。	建設課
			市内を運行する公共交通の利 用者数	18,000	18,000	人	15,817	15,269						C:やや進捗に 遅れ	・小黒山経由生出線 5,510人 ・広田線 4,090人 ・広田半島循環線 683人 ・乗合タクシー福伏線 671人 ・乗合タクシー今泉線 557人 ・乗合タクシー高田米崎循環線 1,092人 ・乗合タクシー高田竹駒循環線 669人 ・デマンド交通気仙エリア 660人 ・デマンド交通小友・広田エリア 1,337人 ※BRTは計算方法が異なるため当初から現状値・目標値に算入し ていない。	※令和2年4月～令和2年7月の利用状況 ・小黒山経由生出線 1,544人 ・広田線 1,574人 ・広田半島循環線 198人 ・乗合タクシー福伏線 316人 ・乗合タクシー今泉線 312人 ・乗合タクシー高田米崎循環線 350人 ・乗合タクシー高田竹駒循環線 209人 ・デマンド交通気仙エリア 213人 ・デマンド交通小友・広田エリア 382人	まちづくり推進 課
			中心市街地と観光地等を結ぶ 2次・3次交通の結節点の整備 箇所数	-	1	箇所	1	-						A:順調に推移	・観光物産協会の事業として、7月からJR陸前高田駅周辺におい て原付電動バイクのレンタル事業がスタート。 ・民間事業者の事業として、12月からJR陸前高田駅周辺でEVレ ンタカー事業がスタート。 ・民間事業者により、令和2年1月に道の駅とアパッセを結ぶグリー ンスローモビリティの実験運行を実施した。	・原付電動バイクのレンタル事業及びEVレンタカー事業は継続し て実施する。	観光交流課 まちづくり推進 課
		2 水道水の安定供給と適切な 下水処理を推進する	水道水の供給と下水処理に満 足している人の割合	73.4	80.0	%	72.2										政策推進室
			水道普及率	89.1	90.9	%	90.6	93.3						A:順調に推移	平成26年度より着手した、横田地区簡易水道事業の拡張整備が ほぼ完了し、拡張区域内の給水が開始された。	米崎町高畑地内(通岡団地)への給水に向け、設計業務を進め る。	水道事業所
			水道管の耐震化率	27.0	35.4	%	27.0	27.9						C:やや進捗に 遅れ	県道工事に伴う移設工事により、耐震管の延長が増加した。	基幹管路(導・送水管)に係る布設工事予定なし。耐震化計画の策 定に向け準備を進める。	水道事業所
			浄化槽設置率	49.0	54.2	%	53.1	52.6						B:概ね順調に 推移	補助金交付実績 78基	補助金交付実績 15基(7月末現在)	都市計画課
			公営企業会計化進捗率	19.0	100.0	%	55.0	89.4						A:順調に推移	固定資産調査・評価業務、企業会計システム等構築業務、企業会 計移行総合支援個別研修業務を実施した。	固定資産調査・評価業務、企業会計システム等構築業務、企業会 計移行総合支援個別研修業務を実施する。	都市計画課 水道事業所
	3 住環境整備を促進する	住環境に満足している人の割 合	62.0	70.0	%	70.3										政策推進室	
		住まいるリフォーム支援事業助 成件数(累計)	369	520	件	401	453						A:順調に推移	助成件数52件	7月に募集案内回覧 7月末助成決定件数21件	建設課	
		景観形成基準に適合している 建築物等の割合	-	90.0	%	0	100.0						A:順調に推移	景観計画による届出等の際に不適合な箇所の変更を依頼した。	景観計画による届出等の際に不適合な箇所の変更を依頼する。	都市計画課	
		運動公園利用者数	-	10,000	人	0	0						D:進捗に遅れ	運動公園整備工事中	6月から一部使用開始、7月末に工事完了し、8月から全施設使 用開始した。	都市計画課	
	4 地域の伝統や文化を大切に する	地域の伝統や文化の保護・活 用に満足している人の割合	56.7	70.0	%	62.1										政策推進室	
		市民芸術祭参加者数	1,881	1,900	人	1,828	1,662						B:概ね順調に 推移	部門別参加者数の内訳 ・展示部門 950人(小・中学生含む) ・舞台部門 576人 ・会席部門 146人	新型コロナウイルス感染症対策により規模を縮小して開催する。 開催する部門は下記のとおり。 ・展示部門 ・会席部門(川柳のみ)	まちづくり推進 課	
		文化財報告会及び展示会参加 者数	323	330	人	235	627						A:順調に推移	「ずっとずっとふるさと陸前高田―海と貝のミュージアムから救出さ れた貝たち―」R2.2.8～2.12 於:コミュニティーホール	新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から実施について検討 中。	管理課	
		教育普及事業(出前講座、博 物館教室、中沢浜貝塚関連事 業)参加者数	305	310	人	1,130	997						A:順調に推移	出前博物館11件643名、博物館教室7件54名、中沢浜貝塚関連事 業1件300名	新型コロナウイルス感染拡大防止のための延期が見られるが、今 後状況を見ながら、中沢浜貝塚関連事業など実施を検討してい る。野外での小学生を対象とした自然観察(水生生物観察会)は2 件実施済み。	管理課 博物館	
	5 生涯学習を推進する	生涯学習の推進に満足してい る人の割合	69.7	75.0	%	68.5										政策推進室	
		各種講座等参加者数	6,200	6,200	人	6,373	5,239						C:やや進捗に 遅れ	・生涯学習出前講座 延べ1,430人 ・自主企画講座 延べ401人 ・地域づくり・人づくり市民講座 延べ21人 ・芸術講座 延べ157人 ・盛岡大学・盛岡大学短期大学部公開講座 43人 ・公民館講座 延べ3,187人	・2019年度開催講座と同様に開催予定であるが、新型コロナウイ ルス感染症の影響により、規模縮小での実施や開催について検 討している。	まちづくり推進 課	

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況

基本理念	基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値					進捗評価	2019年度取組実績	2020年度取組状況	担当課		
			指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022					2023	
基本理念1 創造的な復興 (より良い復興) と防災・減災に よる安全・安心 なまちづくり	2 快適に気持ちよ く暮らすまちづく り	5 生涯学習を推進する	各種講座等参加者の評価	90.0	92.0	%	96.8	95.7					A:順調に推移	・生涯学習出前講座 アンケート集計なし ・自主企画講座 アンケート回答者10人 ・地域づくり・人づくり市民講座 アンケート回答者7人 ・芸術講座 アンケート回答者32人 ・盛岡大学・盛岡大学短期大学部公開講座 アンケート回答者33人 ・公民館講座 アンケート回答者82人	・左記の事業(出前講座を除く)については、2019年度と同様にアンケートにより参加者の評価を確認する予定。	まちづくり推進課	
			博物館利用者数	-	14,000	人	-	-						B:概ね順調に推移	旧生小小学校にて被災資料の安定化処理作業中であり、展示は行っていない。	旧生小小学校にて被災資料の安定化処理作業中であり、展示は行っていない。	博物館
			図書館利用者数	31,408	50,000	人	138,646	127,065						A:順調に推移	・図書館協議会(2回) ・企画展示(16回) ・定例おはなし会(22回) ・図書館イベント(6回) ・移動図書館定期運行	・企画展示(13回) ・定例おはなし会(4回) ・図書館イベント(1回) ・移動図書館定期運行	図書館
			市民文化会館利用者数	-	63,000	人	-	-						C:やや進捗に遅れ	・2020年2月に市民文化会館「奇跡の一本松ホール」完成	・2020年4月11日に開館記念式典を開催し、13日から一般利用を開始している。 ・新型コロナウイルス感染症対策のため、利用に制限を設けている。	まちづくり推進課
3 安全・安心で環 境にやさしいま ちづくり	6 防災意識を高め、防災・減災 体制を整える	6 防災意識の普及と防災・減災 体制に満足している人の割合	防災意識の普及と防災・減災 体制に満足している人の割合	68.6	75.0	%	72.8									政策推進室	
			防災メール登録者数	2,000	3,000	人	2,440	2,571						A:順調に推移	・広報、チラシ、出前講座等により周知した。	・広報、チラシ、出前講座等により周知する。	防災課
			自主防災組織率	66.8	100.0	%	64.6	65.2						C:やや進捗に遅れ	・自主防災組織リーダー研修会を開催した。(45組織75名参加) ・下矢作地区において県のモデル事業として新組織の立ち上げを支援した。	・新型コロナウイルス感染防止の観点からリーダー研修会は中止。研修会の代替えとして啓発資料を作成し送付する。	防災課
			防災マイスター資格取得者数 (累計)	-	200	人	41	52						C:やや進捗に遅れ	・2019年度は、マイスター養成講座の受講者が少なく、11名の取得にとどまった。	・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止。	防災課
			津波避難訓練参加者数	2,053	3,000	人	2,276	2,310						B:概ね順調に推移	・令和元年11月10日(日)訓練実施(ポスター、SNS等により事前周知を実施)	・新型コロナウイルス感染防止の観点から中止。	防災課
	7 消防・救急体制の充実を図る	7 消防・救急体制に満足している 人の割合	消防・救急体制に満足している 人の割合	84.3	87.0	%	81.0										政策推進室
			消防団員数	631	631	人	632	594						C:やや進捗に遅れ	・ホームページや市広報での活動紹介を実施した。 ・市内各地で入団促進ポスターの掲示を行った。 ・新成人へ入団促進パンフレットを配布した。 ・消防防災フェスタでの活動PRを実施した。	・ホームページや市広報での活動紹介を実施する。 ・市内各地で入団促進ポスターの掲示を行う。	消防本部
			救急講習受講者数	855	855	人	966	840						B:概ね順調に推移	・救急講習等 40回	・救急講習等 13回、158人(7月末現在) ※コロナ感染拡大にともない受付を中止している。	消防本部
			防火講習等受講者数	2,984	2,984	人	3,121	3,386						A:順調に推移	・防火講習等 64回	・防火講習等 0回、0人(7月末現在) ※コロナ感染拡大防止のため職員派遣を自粛している。	消防本部
	8 交通安全を推進する	8 交通安全の推進に満足してい る人の割合	交通安全の推進に満足してい る人の割合	48.8	60.0	%	43.1										政策推進室
交通事故発生件数			434	400	件	420	384						A:順調に推移	○全国交通安全運動の推進 ・新入学期の交通事故防止推進期間(4/6~4/15) ・春の全国交通安全運動(5/11~5/20) ・夏の交通事故防止県民運動(7/16~7/25) ・秋の全国交通安全運動(9/21~9/30) ・冬の交通事故防止県民運動(12/13~12/22) ○市内交通安全施設の点検整備 ・8/6、8/8 市内小中学校通学路等 点検60箇所 ○一日警察署長及び啓発活動 ・11/3 陸前高田市産業まつり会場内 ○正しい交通ルールを守る運動県民大会への参加 ・11/21 都南文化会館 ○研修会等への参加 ・防犯パトロール実施者講習会(11/25 市役所) ・気仙地区交通安全研修会(2/14 大船渡市民交流館)	○全国交通安全運動の推進 ・春の全国交通安全運動(4/6~4/15) ・夏の交通事故防止県民運動(7/16~7/25) ・秋の全国交通安全運動(9/21~9/30) ・冬の交通事故防止県民運動(12/13~12/22) ○市内交通安全施設の点検整備 ・8/5、8/6 市内小中学校通学路等 点検76箇所 ○正しい交通ルールを守る運動県民大会への参加 予定 ・11/13 都南文化会館 ○研修会等への参加 ・防犯パトロール実施者講習会(11月 市役所) 予定 ・気仙地区交通安全研修会(2月 大船渡市) 予定	まちづくり推進課	
防犯体制の強化と安心なまち づくりの推進に満足している人 の割合			57.0	65.0	%	58.2											政策推進室
9 防犯体制の強化と安心なまち づくりを推進する	9 防犯体制の強化と安心なまち づくりの推進に満足している人 の割合	防犯体制の強化と安心なまち づくりの推進に満足している人 の割合	57.0	65.0	%	58.2										政策推進室	
		刑法犯発生件数	37	30	件	32	24						A:順調に推移	○地域安全運動の実施 ・春の地域安全運動(5/11~5/20) ・秋の地域安全運動(10/11~10/20) ・年末年始地域安全運動(12/13~1/3) ※それぞれの期間中に地域安全パレードを実施した。 ○市内各地区防犯協会による地区見守り活動 ○啓発用のぼり旗等用具の購入	○地域安全運動の実施 ・春の地域安全運動(4/6~4/15) ・秋の地域安全運動(10/11~10/20) ・年末年始地域安全運動(12/15~1/3) ※それぞれの期間中に地域安全パレードを実施する。 ○市内各地区防犯協会による地区見守り活動 ○子ども110番の家へのステッカー配付(岩手県警) ○啓発用具の購入	まちづくり推進課	
10 自然環境の保全に努める	10 自然環境の保全に努める	自然環境の保全に満足してい る人の割合	68.4	75.0	%	72.1										政策推進室	
		川の環境基準(BOD75%値環 境基準)	1.3	1.0以下	mg/l	0.6	0.7						A:順調に推移	・気仙川一斉清掃(4/21、9/29)	・気仙川一斉清掃(春は中止、秋は未定)	まちづくり推進課	

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況

基本理念	基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値					進捗評価	2019年度取組実績	2020年度取組状況	担当課				
			指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022					2023			
基本理念1 創造的な復興 (より良い復興) と防災・減災に よる安全・安心 なまちづくり	3 安全・安心で環 境にやさしいま ちづくり	10 自然環境の保全に努める	海の環境基準(COD75%値環 境基準)	1.6	1.5以下	mg/l	-	-					C:やや進捗に 遅れ	・気仙川一斉清掃(4/21、9/29)	・気仙川一斉清掃(春は中止、秋は未定)	まちづくり推進 課			
			環境教育・出前講座の開催回 数	-	2	回	4	6					A:順調に推移	・矢作川の水生生物調査(9/5 矢作小学校) ・出前講座(8/10「ゴミ問題とリサイクルの状況について」) ・横田町菖蒲姫の水路水生生物観察会(7/18 横田小学校) ・横田町菖蒲姫の水路水生生物観察会報告会(8/28 横田小学 校) ・川原川の水生生物観察会(10/7 高田小学校) ・川原川の水生生物観察会報告会(11/19 高田小学校)	・矢作川の水生生物調査(9/1 矢作小学校) ・横田町菖蒲姫の水路水生生物観察会(7/29 横田小学校) ・気仙川の水生生物観察会(8/20 横田小学校)	まちづくり推進 課			
		11 ごみの減量と資源の活用を 図る	ごみの減量と資源の活用に満 足している人の割合	58.2	70.0	%	56.1											政策推進室	
			市民1人1日当たりのごみ排出 量	619	610	g	632	628							B:概ね順調に 推移	・資源集団回収登録団体 14団体 ・コンポスト設置補助数 31基 ・電動生ごみ処理機設置補助数 6基 ・木製コンポスト設置補助数 2基	・資源集団回収 ・コンポスト設置補助 ・電動生ごみ処理機設置補助 ・木製コンポスト設置補助 ・EMぼかし補助	まちづくり推進 課	
	新エネルギー利用促進助成件 数	40	40	回	73	42							A:順調に推移	・太陽光システムへの補助 37件(R2への繰越明許含む) ・木質バイオマスへの補助 5件(同上)	・太陽光システムへの補助 ・木質バイオマスへの補助	まちづくり推進 課			
基本理念2 ノーマイゼー ションという言 葉のいらぬまち づくり(世界に 誇れる美しい共 生社会のまちづ くり)	4 子どもたちを健 やかに育むまち づくり	12 安心して子どもを産み育てら れる環境を整える	子どもを産み育てる環境に満 足している人の割合	41.2	60.0	%	46.5										政策推進室		
			出生数	94	110	人	91	86							B:概ね順調に 推移	・母子手帳交付時の面接(全件) ・妊婦相談・訪問指導の実施 ・両親教室 6回 ・祖父母教室 2回 ・特定治療支援事業の実施	・前年度同様 ※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止及び延 期になったものに対しては、個別対応を強化	保健福祉課	
			児童公園等の整備(累計)	4	6	箇所	0	1								B:概ね順調に 推移	今泉徳区画整理区域内に、「三本松公園」が整備された。	高田松原公園内の一部が、2020年度8月に遊具を含め共用開始 された。	子ども未来課
			U・Iターン者数	55	100	人	118	49							A:順調に推移	・定住支援住宅事業助成金 26人 ・Uターン促進奨励金 9人 ・地域おこし協力隊採用 8人 ・移住定住総合支援業務 9人 重複削除後合計49人	コロナにより、都市部でのイベントが開催できないものの、地方移 住のニーズが全国的にも高まり、オンライン配信等により、これま での方法を変更し、移住相談の件数が増加している。	観光交流課	
			高等職業訓練促進給付費等事 業(ひとり親家庭対象)の受給 者数	1	2	人	1	0								B:概ね順調に 推移	高等職業訓練促進費は3年間が利用限度であることから、2019年 度は利用せず、2020年度に受給見込み。	1名受給中。1名所得制限のため未受給。	子ども未来課
			13 一人ひとりを大切にしたい学校 教育を推進する	一人ひとりを大切にしたい学校 教育の推進に満足している人の 割合	62.2	70.0	%	55.3											
	「こころからだの健康観察」に おける要サポート児童生徒の 割合	小12.9 中11.2		小10.9 中9.2	%	小12.0 中14.0	小13.8 中15.8							C:やや進捗に 遅れ	・「こころからだの健康観察」の実施結果を受けて、教職員と保護 者、スクールカウンセラー、医療機関等が連携しながら要サポート 児童生徒の心のケアにあたった。	・「こころからだの健康観察」を実施し、震災及び新型コロナウイ ルス感染への不安を抱えた児童生徒への心のケアやサポートに 組織的・計画的に取り組む。	学校教育課		
	学校不適応児童生徒出現率	小0.13 中2.65		小0.00 中2.35	%	小0.42 中3.49	小0.43 中2.40								B:概ね順調に 推移	・学校及び適応支援教室等、関係機関が情報を共有しながら、不 適応児を出さないよう計画的・組織的に児童生徒の「居場所づく り」「きずなづくり」に努めた。	・児童生徒連絡会議、適応支援教室会議、個別ケース会議等、組 織的に対応することで、広い視野から開かれた生徒指導を展開す る。	学校教育課	
	いじめ解消率	80.0		100.0	%	93.3	100.0								A:順調に推移	・いじめの未然防止と早期発見、解決に向けた適切な対応のため にいじめの組織的な認知を実施した。	・いじめ防止等対策連絡協議会を組織し、学校内外にいじめの未 然防止、早期発見、解決及び情報モラルに関する指導をすすめ る。	学校教育課	
	14 知・徳・体を真に備えたたくま しい人づくりを推進する	知・徳・体を真に備えたたくま しい人づくりの推進に満足してい る人の割合	70.4	75.0	%	74.1												政策推進室	
学習定着度状況調査における 「授業の内容がわかる」と答え た児童生徒の割合		小92.1 中77.2	小93.1 中78.2	%	小90.5 中81.2	小91.0 中79.6								B:概ね順調に 推移	・全国学力・学習状況調査や県学習状況定着度調査後に各校へ 授業改善の手引きを送付し授業改善に役立てた。 ・校長会や研究主任研究会で学習状況調査等の結果と陸前高田 市の児童生徒の状況を示した。	・教育委員会が主催とする、校長会、研究主任訪問等で標準学力 調査及び県学習定着度状況調査の質問紙結果の分析内容を提示 し、授業改善に役立てる。	学校教育課		
「人の気持ちのわかる人間にな りたい」と思っている児童生徒 の割合		小66.0 中80.0	小68.0 中82.0	%	小70.0 中81.0	小74.0 中81.0								A:順調に推移	・校長会議で、児童生徒の心の状況を経年変化で捉えた資料を提 示した。 ・名古屋市の中学校との交流の中で、防災教育の取組を実施。そ の中で災害時に自分たちで何ができるかについて話し合うことが できた。	・校長会議において、児童生徒の心の状況を示した資料を提示 し、今後の課題について共通理解を図り、指導に役立てる。	学校教育課		
体力・運動能力調査の総合評 価全5段階のうちA・B・C段階 の児童生徒の割合		小76.0 中82.7	小78.0 中83.7	%	小80.3 中82.1	小77.9 中83.1								B:概ね順調に 推移	・各校で、1日に60分以上体を動かす、60運動や、マラソン大会等 の体力づくりの取組を積極的に進めた。	・県教育委員会の事業である60運動や各校の工夫した取組によ り、運動に対する関心を高めるとともに、体力の向上を図る。	学校教育課		
15 家庭や地域の教育力を高め る		家庭や地域の教育力に満足し ている人の割合	69.9	75.0	%	75.7												政策推進室	
	各種学級等参加者数	1,934	1,940	人	2,182	1,680								C:やや進捗に 遅れ	・保育所(園)等家庭教育学級 20回 参加人数延べ 712人 ・小・中学校家庭教育学級 16回 参加人数延べ 748人 ・関係団体家庭教育学級 3回 参加人数延べ 30人 ・乳幼児学級 延べ開催回数 8回 参加人数延べ 120人 ・家庭教育出前講座 延べ開催回数 4回 参加人数延べ 70人	新型コロナウイルス感染症対策により規模を縮小して開催または 中止。	まちづくり推進 課		
	各種学級等参加者の評価	77.0	80.0	%	95.0	96.6								A:順調に推移	・保育所(園)等家庭教育学級 アンケート回答者数 延べ293人 ・小・中学校家庭教育学級 アンケート回答者数 延べ209人 ・家庭教育講座 アンケート回答者数 延べ28人 ・乳幼児学級 アンケート回答者数 延べ55人	・左記の事業については、2019年度と同様にアンケートにより参加 者の評価を確認する予定。	まちづくり推進 課		
	学校支援地域本部の設置数 (累計)	9	10	箇所	10	10								A:順調に推移	・社会教育法の改正に伴い新たな事業に移行し、学校支援地域本 部から地域学校協働本部に変更。本部を中学校区単位とし、2箇 所に設置済。	・昨年度の体制を継続し、統括コーディネーターが中心となり各学 校区とのネットワークの連携強化を図りながら事業を推進してい る。	管理課		

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況

基本理念	基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値					進捗評価	2019年度取組実績	2020年度取組状況	担当課			
			指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022					2023		
基本理念2 ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり(世界に誇れる美しい共生社会のまちづくり)	4 子どもたちを健やかに育むまちづくり	15 家庭や地域の教育力を高める	学校支援ボランティアの登録者数	100	110	人	210	120					A:順調に推移	・2018年度は活動していないボランティアも含まれていたため、2019年度は活動したボランティアのみに修正。全校に地域コーディネーターが配置できたことにより、登録者数は伸びている。	・前年度並みの登録者数を維持している。	管理課		
			たかた子どもキャンパスの参加者数	212	220	人	229	355						A:順調に推移	・市内一ヶ所で開催していた事業を各小中学校区単位でも開催できるよう体制を整備し、より多くの子ども達が参加できるよう、取り組んでいる。	・新型コロナウイルス感染症の影響により開催が困難な状況だが、感染症対策を講じながら可能な範囲で開催できるよう努めている。	管理課	
			学校教育環境に満足している人の割合	66.0	70.0	%	68.4											政策推進室
		16 安全・安心な学校教育環境を整える	通学路安全点検危険箇所改善率	35.0	40.0	%	33.3	31.9						C:やや進捗に遅れ	・通学路合同安全点検を実施し、その中で挙げられた47箇所の危険箇所中15箇所が改善されている。その他、整備予定10箇所、様子観察等22箇所となっている。	・通学路合同安全点検を実施し、関係機関と改善点について情報共有を図る。点検結果についてHPに掲載する。	学校教育課	
	学校教育計画の中に防災教育を位置づけ、実践に取り組んでいる小中学校の割合		100.0	100.0	%	100.0	100.0							A:順調に推移	・市内すべての学校において学校教育計画の中に防災教育を位置付けており、登下校中を含めた避難訓練や地域の実情に合わせた防災教育を実施した。	・市内全ての学校において学校教育計画の中に防災教育を位置付け、地域の実情に合わせた防災教育を実施する。	学校教育課	
	5 ともに支え、健康に暮らすまちづくり	17 共生のまちづくりを推進する	共生のまちづくりの推進に満足している人の割合	再建した店舗のうちユニバーサルデザイン認証を受けた店舗の割合	-	50.0	%	0.0	22.2					B:概ね順調に推移	まちなか地区の20店舗を認証した。	15店舗を認証予定。	都市計画課	
				就労困難者就労者数(累計)	6	25	人	9	11						B:概ね順調に推移	雇用開始2名、自力就労9名の計11名が就労した。個別相談対応からグループワーク、個々の適性検査を実施しながら相談者へのより細やかな支援を展開している。	新型コロナウイルス感染症の予防に努めながらも、適切な相談対応と確実なステップアップを図り、就労困難者への支援を行う。	保健福祉課
				はまかだスポット数(累計)	314	350	箇所	329	149						D:進捗に遅れ	・はまかだ運動推進会議の開催12回、はまかだスポット交流会の開催1回 ・はまかだスポット調査、はまかだマップの作成 仮設住宅の集約に伴い、サロン等の通いの場も集約・終了したため、はまかだスポット数が減少した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、未実施。(R2.8月現在)	保健福祉課
				市民の健康づくりの推進に満足している人の割合	80.2	85.0	%	83.0										
		18 市民の健康づくりを推進する	介護予防教室の参加者数	介護予防教室の参加者数	3,715	4,000	人	2,115	1,984						C:やや進捗に遅れ	・介護予防教室 実施箇所数 51か所、実施回数 152回	・新型コロナウイルス感染症の影響により、未実施。(R2.8月現在)	保健福祉課
チャレンジデー参加率				76.1	75.0	%	69.3	59.7						C:やや進捗に遅れ	・夢アリーナたかたの利用開始に伴い、ヨガ教室、水泳教室を新たに開催し、参加率の向上を図ったが、当日の天候が雨の時間帯が多く、屋外での活動が少なかったことにより参加率は減少した。	・新型コロナウイルス感染防止のため、事業中止。なお、市民の運動不足解消のため、川崎フロンターレに協力いただき、家庭での筋カトレーニング動画を配信している。	スポーツ交流推進室	
スポーツ教室等参加者数				56	600	人	502	564							B:概ね順調に推移	・スポーツ教室開催の広報に力を入れ、参加者数は伸びてきているが、いくつかの事業は中止となっている。	・新型コロナウイルス感染防止に努めながら、事業実施を行っているが、いくつかの事業は中止となっている。	スポーツ交流推進室
夢アリーナたかた(総合交流センター、B&G海洋センター)利用者数				-	160,000	人	95,087	94,433							D:進捗に遅れ	・新型コロナウイルス感染防止のため、令和2年3月から約1か月間施設休館をしたことにより、利用者が減少した。	・新型コロナウイルス感染防止のため、国や県のガイドラインを遵守し、新年度当初の休館や、利用者人数の制限等を行っていることから、今年度における利用者の増加は難しい。	スポーツ交流推進室
19 安心できる医療・介護・福祉体制を整える	医療・介護・福祉体制に満足している人の割合	気仙地区の医師数(10万人当たり)	156	160	人	149	149						C:やや進捗に遅れ	・HPによる医師募集を実施した。 ・医師招請活動を実施した。	・HPによる医師募集を実施する。 ・医師招請活動を実施する。	保健福祉課		
		未来かなえネット登録者数	3,333	3,800	人	3,707	3,651							C:やや進捗に遅れ	・広報による周知を行った。 ・産科オンラインの追加による母子手帳受付の際にパンフレットを配付した。	・広報による周知を行う。	保健福祉課	
		20 仕事と生活の調和を図り、男女共同参画を推進する	仕事と生活の調和や男女共同参画の推進に満足している人の割合	42.7	60.0	%	43.0										政策推進室	
6 市民と築く交流と連携の住みよいまちづくり	20 仕事と生活の調和を図り、男女共同参画を推進する	仕事と生活の調和に関する講演会等の参加者数	仕事と生活の調和に関する講演会等の参加者数	-	100	人	5	93						A:順調に推移	・市内事業者等を対象として、生涯現役活躍シンポジウムを実施した。	・生涯現役促進地域連携事業において、市内事業者等向けプチ勤務勉強会を開催予定。	商政課	
			各種審議会等における女性委員の登用率	18.5	30.0	%	18.5	17.9							C:やや進捗に遅れ	・各種審議会等における女性委員登用率の調査を実施した。	・各種審議会等において女性委員登用の検討する。	まちづくり推進課
			仕事と家庭の両立支援行動計画策定登録数	5	20	件	5	1							C:やや進捗に遅れ	・市内事業者等を対象として、生涯現役活躍シンポジウムを実施した。	・市内事業者向けのプチ勤務勉強会を通じて、両立支援行動計画の策定を促進する。	商政課
	21 協働によるまちづくりを推進する	協働によるまちづくりの推進に満足している人の割合	まちづくり団体活動補助金による支援件数	-	5	件	0	0						C:やや進捗に遅れ	・令和2年度に策定予定のまちづくり協働指針と併せて制度について検討する。	・まちづくり協働指針の策定及びまちづくり団体活動補助金の制度内容の検討を行う。	まちづくり推進課	
			協働によるまちづくりに関する研修会等の開催数	-	2	回	0	1							B:概ね順調に推移	・地域づくり人づくり市民講座を開催し、地域で活躍する人材の育成に係る研修を行った。	・各地区コミュニティ推進協議会による地域交付金活用事例報告会を開催し、協議会同士で活用事例等を共有した。	まちづくり推進課
			22 住民活動を支援する	住民活動の支援に満足している人の割合	68.3	75.0	%	62.9										政策推進室

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況

基本理念	基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値					進捗評価	2019年度取組実績	2020年度取組状況	担当課			
			指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022					2023		
基本理念2 ノーマライゼーションという言葉の知らないまちづくり(世界に誇れる美しい共生社会のまちづくり)	6 市民と築く交流と連携の住みよいまちづくり	22 住民活動を支援する	コミュニティ活動推進補助金を利用した事業数	-	11	事業	0	78					A.順調に推移	・11地区のコミュニティ推進協議会において78事業を実施した。	・地域交付金制度を継続して実施する。	まちづくり推進課		
			自治会館等の整備支援件数(累計)	38	62	件	41	43						B.概ね順調に推移	・改修2件(館・軍見洞町内会館、和野会館)	・被災再建等5件 ・改修2件	まちづくり推進課	
		23 地域間の交流を促進する	地域間交流の促進に満足している人の割合	83.0	85.0	%	81.8											政策推進室
			友好都市等交流事業開催数	15	20	回	23	17							A.順調に推移	・兄弟都市である名古屋市、姉妹都市であるクレセントシティ市との相互交流のほか、友好都市における産業まつりへの出展等による交流事業を実施した。	・兄弟・姉妹都市及び友好都市との交流事業は継続予定。その他交流事業については、今般の新型コロナウイルス感染症の状況により、実施について検討中。	政策推進室
23 地域間の交流を促進する	【再掲】U・Iターン者数	55	100	人	118	49							A.順調に推移	・定住支援住宅事業助成金 26人 ・Uターン促進奨励金 9人 ・地域おこし協力隊採用 8人 ・移住定住総合支援業務 9人 重複削除後合計49人	コロナにより、都市部でのイベントが開催できないものの、地方移住のニーズが全国的にも高まり、オンライン配信等により、これまでの方法を変更し、移住相談の件数が増加している。	観光交流課		
基本理念3 次世代につなげる持続可能なまちづくり	7 活気に満ちあふれ豊かに暮らすまちづくり	24 農業の振興を図る	農業の振興に満足している人の割合	36.9	40.0	%	38.3										政策推進室	
			新規就農者数(累計)	1	13	人	2	3							C.やや進捗に遅れ	農業次世代人材投資資金(国庫補助)を活用し、就農5年以内の新規就農者5名に対し、補助金を交付し、就農後の定着を図った。また、平成29年度から総合営農指導センターにおいて開設している「営農相談窓口」を週1回開設し、5件の就農相談を受けた。	農業次世代人材投資資金の活用により、新規就農者(継続4名)に対し、補助金を交付し、引き続き就農後の定着を図っている。営農相談窓口の開設も継続し、週に1回開設を行っており、これまで、3件の就農相談を受けている。	農林課
			たかたのゆめの栽培面積	56	70	ha	51	61							B.概ね順調に推移	ほ場整備実施区域での作付けを推進することにより、栽培面積を拡大した。	認定農業者や法人など大規模な担い手への働きかけを行い、引き続き作付面積の拡大を進める。	農林課
		25 林業の振興を図る	林業の振興に満足している人の割合	37.3	40.0	%	37.4											政策推進室
			新規林業就業者数(累計)	-	12	人	3	0							C.やや進捗に遅れ	新規就業者の確保等を目的とした「陸前高田市林業担い手対策事業費補助金交付要綱」に該当する新規就業者はなかった。	林業の魅力や陸前高田市林業担い手対策事業費補助金制度の周知を図る。地域おこし協力隊(林業担い手分野)の活動を支援し、任期満了後の新規林業就業につなげる。	農林課
			自伐型林業により整備した森林面積	-	20	ha	6.91	12.98							B.概ね順調に推移	地域おこし協力隊により12.98haを間伐した。	2019年度に引き続き、地域おこし協力隊による間伐作業をサポートする。	農林課
			再造林率	5.0	20.0	%	0.9	9.5							B.概ね順調に推移	市内の伐採(皆伐)面積90.03haに対し、植栽面積8.53haであった。	市有林での植栽を積極的に行い、約12haの植栽面積を確保する。再造林率低迷の原因となっている獣害(ニホンジカ)による被害対策について、鳥獣被害対策実施隊によるニホンジカの捕獲予定頭数を前年度より増加させ、被害拡大防止に努めている。	農林課
		26 水産業の振興を図る	水産業の振興に満足している人の割合	47.1	50.0	%	34.4											政策推進室
			新規漁業就業者数(累計)	9	20	件	12	0							B.概ね順調に推移	新規漁業者への支援制度拡充のため関係機関と協議を行った。次年度に向け制度構築を図った。	新規漁業者への支援制度を大幅に拡充した。制度拡充後、移住を含め新規漁業者からの相談が増加し、7件の相談対応中。	水産課
			水産加工業新規就業者数(累計)	2	7	人	2	10							A.順調に推移	民間企業の自助努力により、目標を大幅に上回る正社員の増に繋がった。	継続して市内水産加工業の魅力周知を図る。	水産課
			サケ(気仙川)の水揚量	36,413	38,000	尾	45,950	15,368							E.進捗に大幅な遅れ	海洋環境の変化等の影響により、県内全体で厳しい水揚げ状況が続いていることから、関係機関と協力し対応を協議していくこととした。	岩手県に対し、新たな重点要望として、原因の究明と抜本的対策を要望する。	水産課
			イシカゲ貝の水揚量	68,127	100,000	kg	53,499	43,358							D.進捗に遅れ	天然種苗が不安定であることが、水揚量のバラつきに繋がっていることから、人工種苗の生産技術確立に向けた取組を新たに開始した。	人工種苗の生産に向けた取組みを継続して実施する。	水産課
			アワビの水揚量	3,460	3,500	kg	3,747	654							D.進捗に遅れ	一部地域で開口を見送ったことから水揚量が少なかった。岩手県等の関係機関と協力しながら専門家の助言を踏まえた磯焼け対策を協議した。	前年度開口を見送ったことで資源の回復が見られる。ウニの駆除や藻場の再生を継続して実施する。	水産課
カキの水揚量	86,559		90,000	kg	94,479	77,977								C.やや進捗に遅れ	当初身入りが悪かったものの、徐々に回復した。	10月の出荷開始に向け新型コロナウイルスの影響を注視。オンラインによる多角的販売の検討を図る。	水産課	
	4,354,201		4,500,000	粒	4,216,307	4,927,448								A.順調に推移	順調な水揚げにより生産目標を上回った。	10月の出荷開始に向け新型コロナウイルスの影響を注視。オンラインによる多角的販売の検討を図る。	水産課	
ホタテの水揚量	224,947		230,000	kg	82,905	98,955								E.進捗に大幅な遅れ	貝毒が頻りに発生し水揚げに大きな影響を与えているため、岩手県に対し原因の究明と抜本的対策を要望した。	貝毒の原因究明と抜本的対策を継続して岩手県に要望する。漁協が岩大と貝毒除去に向けた独自試験の協議を開始する。	水産課	
ホヤの水揚量	127,531		133,000	kg	86,202	130,603								A.順調に推移	概ね順調な水揚量となった。	貝毒発生により一時出荷規制となったため、他の水産物と合わせ、貝毒の原因究明と抜本的対策を継続して岩手県に要望する。	水産課	
ワカメの水揚量	783,624	820,000	kg	526,601	677,263								C.やや進捗に遅れ	新型コロナウイルスの影響により、3月以降取引価格の下落等が見られた。	1月の出荷開始に向け新型コロナウイルスの影響を注視。オンラインによる多角的販売の検討を図る。	水産課		
27 商工業の振興を図る	商工業の振興に満足している人の割合	49.4	60.0	%	42.8											政策推進室		

陸前高田市まちづくり総合計画 実施状況

基本理念	基本目標	基本政策	基本政策で設定した成果指標項目				成果指標項目実績値					進捗評価	2019年度取組実績	2020年度取組状況	担当課		
			指標	現状値 (2017)	目標値 (2023)	単位	(参考) 2018	2019	2020	2021	2022					2023	
基本理念3 次世代につな げる持続可能な まちづくり	7 活気に満ちあふ れ豊かに暮らす まちづくり	27 商工業の振興を図る	商工会会員数	535	600	事業所	539	543					A:順調に推移	・被災中小企業向けに資産復旧に資する補助金の支給や小口の事業資金を借り入れた際の利子・信用保証料の補給、商工会を通じた経営改善普及や地域振興事業の実施を支援した。	・引き続き、被災中小企業向けに資産復旧に資する補助金の支給や小口の事業資金を借り入れた際の利子・信用保証料の補給、商工会を通じた経営改善普及や地域振興事業の実施を支援する。	商政課	
			かさ上げ部の土地利用予定の割合(面積比)	15.9	45.0	%	36.0	38.0						B:概ね順調に推移	・まちづくり会社の設立 ・チャレンジショップの整備 ・相談窓口設置 ・土地利用促進バンクのPR ・土地利用促進助成事業の開始 ・土地利用促進助成事業の開始 ・各種ホームページ等での周知 ・中心市街地でのイベント開催	・まちづくり会社の事業推進への支援 ・チャレンジショップ案内看板設置 ・土地利用促進バンクのPR ・土地利用促進助成事業のPR ・相談窓口設置 ・各種ホームページ等での周知 ・イベント開催に必要なとなるテント等の整備 ・中心市街地でのイベント開催	都市計画課 商政課
		28 地産地消とブランド化を推進する	地産地消とブランド化の推進に満足している人の割合	62.6	65.0	%	58.0										政策推進室
		28 地産地消とブランド化を推進する	【再掲】たかたのゆめの栽培面積	56	70	ha	51	61						B:概ね順調に推移	ほ場整備実施区域での作付けを推進することにより、栽培面積を拡大した。	認定農業者や法人など大規模な担い手への働きかけを行い、引き続き作付面積の拡大を進める。	農林課
			【再掲】イシカゲ貝の水揚量	68,127	100,000	kg	53,499	43,358						D:進捗に遅れ	天然種苗が不安定であることが、水揚量のバラつきに繋がっていることから、人工種苗の生産技術確立に向けた取組みを新たに開始した。	人工種苗の生産に向けた取組みを継続して実施する。	水産課
	29 地域資源を活かした観光振興を推進する	地域資源を活かした観光振興の推進に満足している人の割合	34.4	50.0	%	22.8										政策推進室	
		宿泊者数	18,944	35,000	人	23,168	68,728						A:順調に推移	高田松原津波復興祈念公園の一部、道の駅高田松原、まちの縁側等の市内観光施設がオープンした。	市内観光施設のオープンにより、観光客が増加していることから、観光コンテンツの造成や情報発信により、滞在型観光を促進する。	観光交流課	
		観光入込客数	528	1,000	千人回	488	1,036						A:順調に推移	高田松原津波復興祈念公園の一部、道の駅高田松原、まちの縁側等の市内観光施設がオープンした。	市内観光施設のオープンにより、観光客が増加していることから、観光コンテンツの造成や情報発信により、滞在型観光を促進する。	観光交流課	
	30 魅力ある雇用の創出と起業しやすい環境を整える	雇用の創出と起業しやすい環境の整備に満足している人の割合	22.7	60.0	%	29.2										政策推進室	
		新規雇用者数(累計)	56	350	人	199	338						A:順調に推移	・気仙管内の新規卒業予定者を対象に就職相談会を2回実施した。	・ふるさとハローワークとの連携を図るとともに、就職相談会を2回実施予定。	商政課	
		市内における起業者の創出件数(累計)	-	5	件	10	16						A:順調に推移	・中心市街地にチャレンジショップを開設した。 ・陸前高田市新規起業支援事業費補助金を該当事業者に交付した。	・チャレンジショップ入居者の独立に向けた支援を実施する。 ・昨年に引き続き陸前高田市新規起業支援事業費補助金により、起業家支援を促進する。	商政課	
		ビジネスプランコンテスト応募件数(累計)	12	50	件	17	0						C:やや進捗に遅れ	・これまでとは違う形でのビジネスプランコンテストを実施するための起業家育成プログラムを策定した。	・SDGs起業家育成プログラムにより、陸前高田の地域課題や新たな事業の可能性に対応する起業家の発掘及び支援を行う。	商政課	
	8 市民にわかりやすく健全な行政運営	31 健全な財政運営を推進する	市の健全な財政運営の推進に満足している人の割合	36.4	50.0	%	26.1									政策推進室	
			実質公債費比率	14.2	17.0以下	%	15.0	15.0						A:順調に推移	・プライマリーバランスを意識した予算編成及び予算管理を行ったことにより、前年度比と同実績値となった。	・市庁舎建設に伴う起債の借入等により、元利償還金の額が上昇する見込みであるが、繰上償還の実施や交付税算入率の高い起債の選択などを行い、目標を達成できるよう引き続き努める。	財政課
		32 広聴広報活動の充実を図る	市の広聴広報活動に満足している人の割合	73.2	75.0	%	73.7									政策推進室	
市公式ホームページの閲覧者数			296	330	千人	48,542(※)	47,799						A:順調に推移	※延べページアクセス数 ・47,799,679人(上半期25,921,578人、下半期21,878,101人)	・11,231,838人(4月から7月末)	政策推進室	
市公式SNS(フェイスブック等)におけるフォロワー数			28	34	千人	28	28						C:やや進捗に遅れ	・Facebook 23,383人 ・ツイッター 4,670人	・Facebook 23,614人 ・ツイッター 4,868人	政策推進室	
市政懇談会への参加者数			427	500	人	382	681						A:順調に推移	・市内11カ所 合計681人(矢作40、広田81、生出42、竹駒64、長部83、高田87、米崎61、小友66、下矢作43、横田61、今泉53)	今般の新型コロナウイルス感染症の状況により、開催について検討中。	政策推進室	
33 利便性の高い行政サービスを提供する		市の行政サービスに満足している人の割合	49.1	55.0	%	54.1									政策推進室		
		公共無線LAN整備箇所数(累計)	2	25	箇所	22	24						B:概ね順調に推移	【整備】 ・道の駅高田松原 ・市民文化会館 ・今泉地区コミュニティセンター 【撤去】 ・旧横田小学校体育館	・総務省補助金申請済(市役所新庁舎分)	まちづくり推進課	
	情報ポータルサイトの整備件数	-	1	件	0	0						B:概ね順調に推移	・情報ポータルサイトについての情報収集及び他自治体の事例等の調査を実施した。	・情報ポータルサイトに掲載する情報の洗い出し、体系化及び具体的構成イメージの検討を進める。	政策推進室		